

令和5年度（2023年度） 今治北高校大三島分校 シラバス

教科	家庭	科目	生活と福祉	学年	第3学年	類型	I
単位数	3単位	教科書	生活と福祉（実教出版）				
補助教材							

学習目標	高齢期にいたるまでの健康づくりについて考えさせるとともに、ライフステージごとの健康管理について理解する。また、高齢者福祉に関する法規や制度・サービスについて理解させ、自立生活支援と介護に関する基礎的な知識と技術を身に付ける。
------	--

学期	月	単元	学習内容・単元の目標	定期 考査
1 学期	4月	1章 人の一生と生活・健康	WHO憲章の健康の定義について、身体的・精神的・社会的な側面から理解し、基本的人権や生存権について学習するとともに、その権利を保障する取り組みについて考えます。	期末考査
	5月			
	6月	2章 ライフステージと健康管理	日本の高齢者福祉が、国際的にみてどのような特徴をもっているのかを理解した上で、加齢による心身の変化とその特徴や高齢者の病気や事故の特徴について学び、高齢社会に対する施策について理解し、考察します。	
	7月			
2 学期	8月	3章 高齢者の自立生活支援	個人の尊厳とは何か、その定義を理解したうえで、介護の在り方を考察し、高齢者介護について、介護予防の重要性や介護が長期化したときの家族に対する支援や長期の介護体制の確立が大切であることを学びます。	期末考査
	9月			
	10月	4章 高齢者支援の法律と制度	日本の高齢化の進展状況を把握し、高齢社会に対応した社会保障や社会福祉制度を理解し、老人福祉法や介護保険法の目的や理念について学び、高齢者支援のさまざまな制度について理解し、その課題について考察します。	
	11月			
	12月	5章 介護・看護の実習と生活支援	高齢者にみられる心身の変化に対応した体位変換、歩行介助、車いすの移乗・移動など基本的な介護技術を習得します。	
3 学期	1月		家族が病気になったときの基本的な看護の心構えを学びます。	学年末考査
	2月		高齢者が地域で自立した生活をおくることができるように生活援助に関する技術を習得します。	
	3月			

学習の方法	講義、ワークシート、実習、体験的な活動など、様々な学習形態を通して、実践的、体験的に学習します。 保健センターや福祉施設での実習を通して、達成感を味わいながら実践力の向上を目指します。
-------	---

評価の観点	① 関心・意欲・態度	② 思考・判断・表現	③ 技能	④ 知識・理解	⑤
	高齢者の特徴に関心を持ち、病気との関係や事故の防止などを考えようとしているなど、主体的に取り組もうとしている。	高齢者福祉の制度について現状をよく考え、高齢者の生活の質を尊重することの重要性を理解して生活支援を考えることができ、長期の介護体制の確立の重要性について考えている。	基本的な介護技術を習得し、高齢者や地域の人々と積極的にコミュニケーションを図り交流しようとしている。	病気やけが、生活習慣病の予防や、応急手当法の要点を理解し、法規や制度について目的と理念についての知識が身に付いている。	
評価方法	評価の観点を踏まえ、定期考査、実習、ノート・課題の提出状況、授業態度、作品、取組状況などを総合的に評価します。				